

小室山

大室山

市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

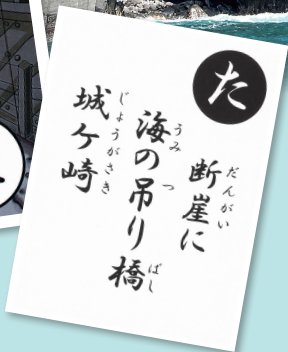
「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見

城ヶ崎

約四〇〇〇年前、大室山の噴火による溶岩が流出し、波の浸食で出来た雄大な千変万化の海岸に、門脇吊り橋と橋立吊り橋が架かっています。切り立った絶壁、流れ出した溶岩の岬、波に浮かぶ伊豆七島、植物の郡落とアマツバメが繁殖するつばくる島もあります。(伊東八景)

伊東かるた解説書より、



※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた(第二版)」(伊東かるたの会制作)の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

主な内容

- 3月定例会の概要……………【P. 2】
- 一般質問(12議員が登壇)……………【P. 8】
- 予算大綱質疑(7議員が質疑)……………【P. 5】
- 委員会だより……………【P. 12】



令和8年3月定例会

令和8年度一般会計予算を全会一致で可決 特別会計6件、企業会計3件についても可決

3月定例会を2月20日から3月24日までの33日間の会期で開催しました。

| 議案番号 | 件名 | 概要 | 提出者 | 審議結果 |
|--------|--|--|-----|-------------|
| 市認第28号 | 令和7年度伊東市一般会計補正予算(第8号)専決処分 の報告承認について | 令和8年1月23日に衆議院が解散されたことに伴い、令和8年2月8日に実施されることとなった、衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行経費に係る補正予算について、令和8年1月23日付で専決処分を行ったことの報告承認 | 市長 | 全会一致 で承認 |
| 市議第41号 | 伊東市幼児施設連絡調整協議会設置条例の一部を改正する条例 | 子ども・子育て支援法における認定こども園制度の創設等、教育・保育施設の形態の多様化に対応するため、条例名称を改めるほか、用語の整理や、所掌事項に施設の運営に関するものを加えるとともに、新たに委任事項として規則の制定を規定する条例改正 | 市長 | 全会一致 で可決 |
| 市議第42号 | 伊東市職員の分限に関する 手続及び効果に関する条例 の一部を改正する条例 | 地方公務員法第28条第4項に基づく失職の例外規定を設けるための条例改正 | 市長 | 全会一致 で可決 |
| 市議第43号 | 伊東市一般職の職員の給与 に関する条例及び伊東市一 般職の職員の給与に関する 条例の一部を改正する等の 条例の一部を改正する条例 | 令和7年人事院勧告において、民間の支給割合との均衡を図るため、一般職の給与等に関して勧告されたことに伴う条例改正 | 市長 | 全会一致 で可決 |
| 市議第44号 | 伊東市手数料徴収条例等の 一部を改正する条例 | 市税や保険料をはじめ、各種使用料、手数料の徴収事務の効率化と収納率の向上を図るため、法令等に基づく督促状の発送に係る督促手数料の徴収を廃止するための条例改正 | 市長 | 全会一致 で可決 |
| 市議第45号 | 伊東市特定教育・保育施設 及び特定地域型保育事業の 運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例 | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部が改正されたこと等に伴い、インターネットを利用して施設の重要事項を公衆の閲覧に供することを義務付けることをはじめ、引用条項を整理するほか、所要の改正を行う条例改正 | 市長 | 全会一致 で可決 |
| 市議第46号 | 伊東市家庭的保育事業等の 設備及び運営に関する基準 を定める条例の一部を改正 する条例 | 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたこと等に伴い、連携施設の設置義務について、新たに緩和要件を設けることをはじめ、引用条項を整理するほか、所要の改正を行う条例改正 | 市長 | 全会一致 で可決 |
| 市議第47号 | 伊東市放課後児童健全育成 事業の設備及び運営に関す る基準を定める条例の一部 を改正する条例 | 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、引用条項の整理等を行う条例改正 | 市長 | 全会一致 で可決 |
| 市議第48号 | 伊東市特定乳児等通園支援 事業の運営に関する基準を 定める条例 | 子ども・子育て支援法の改正により、乳児等のための支援給付制度が創設され、特定乳児等通園支援事業を提供しなければならないこととされたことに伴い、国の特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を踏まえ、利用定員や事業運営に関する基準等について、新たに条例を制定するもの | 市長 | 全会一致 で可決 |
| 市議第49号 | 伊東市介護保険条例の一部 を改正する条例 | 令和7年度税制改正における所得税の基礎控除の見直しを踏まえ、令和8年度介護保険料の算定における所得の算定方法等の特例を設けるなど、所要の改正を行う条例改正 | 市長 | 全会一致 で可決 |
| 市議第50号 | 伊東市災害弔慰金の支給等 に関する条例及び伊東市議 会議員等の報酬及び期末手 当の支給並びに費用弁償条 例の一部を改正する条例 | 災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律の施行により、伊東市災害弔慰金の支給等に関する条例において、災害弔慰金等支給審査委員会の設置に関する規定を設けるとともに、伊東市議会議員等の報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例において、同委員会委員の報酬に関する規定を加えるため、それぞれ所要の改正を行う条例改正 | 市長 | 全会一致 で可決 |

| 議案番号 | 件名 | 概要 | 提出者 | 審議結果 |
|--|--|--|-----|-------------|
| 市議第51号  討論 | 伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行等に伴い、国民健康保険税の課税額に子ども・子育て支援納付金課税額が追加されたこと、地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、賦課限度額の一部が改正されたことなどに対応するため、所要の改正を行う条例改正 | 市長 | 賛成多数で可決 |
| 市議第52号 | 伊東市水洗便所改造等資金助成条例及び伊東市育英奨学金条例の一部を改正する条例 | 各条例における延滞金に関する規定について整理するため、所要の改正を行う条例改正 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第53号 | 伊東市水道事業給水条例の一部を改正する条例 | 伊東市手数料徴収条例等の一部を改正する条例と同様に、督促手数料の徴収を廃止し、延滞金を遅延損害金に改正を行う条例改正 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第54号 | 伊東市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 | 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の施行に伴う改正で、非常勤消防団員等の公務災害等に係る補償基礎額を改め、用語の整理等所要の改正を行う条例改正 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第55号 | 令和7年度伊東市一般会計補正予算(第9号) | 各種事業の執行経費の整理、令和7年人事院勧告を反映した職員に係る人件費の整理、物価高騰対策としてのプレミアム付商品券事業を主な内容に、3億9,140万5,000円の追加 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第56号 | 令和7年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第2号) | 車券の売上げが好調に推移し、現計予算をさらに上回ることから、歳入において車券売上金を増額し、歳出において、車券売上金の増額に見合う売上連動経費や、一般会計への繰出金及び競輪施設改善基金への積立金の追加を主な内容として、41億9,621万3,000円の追加 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第57号 | 令和7年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) | 歳入における県補助金の確定による減額に伴う一般会計繰入金及び基金繰入金の整理、歳出における会計年度任用職員に係る経費の整理を主な内容に147万1,000円の追加 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第58号 | 令和7年度伊東市霊園事業特別会計補正予算(第1号) | 歳入における新規墓所及び合葬墓販売に係る墓所使用料の増額及び前年度決算確定に伴う繰入金の増額、歳出における令和7年人事院勧告を反映した職員人件費の整理及び使用料収入の増額に伴う基金積立金の増額を主な内容として、10万6,000円の減額 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第59号 | 令和7年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) | 歳出における令和7年人事院勧告を反映した職員に係る人件費の整理、歳入における国庫支出金、支払基金交付金及び一般会計繰入金の整理を主な内容として、188万7,000円の追加 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第60号 | 令和7年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | 歳出における令和7年人事院勧告を反映した職員に係る人件費の整理及び広域連合に対する保険料負担金等の整理、歳入における医療保険料や一般会計の繰入金の整理を主な内容として、1,111万5,000円の追加 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第61号 | 令和7年度伊東市病院事業会計補正予算(第1号) | 収益的支出の医業費用について、令和7年人事院勧告を反映し給与費の増額を主な内容として計上 | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第62号 | 令和7年度伊東市下水道事業会計補正予算(第1号) | 収益的収支については、令和6年度事業費確定に伴い、営業外収益及び営業費用の減額、営業外費用において不足が見込まれる消費税及び地方消費税の増額、資本的収支については、国庫補助事業不採択などにより企業債、国庫補助金及び工事請負費の減額を主な内容とするもの | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第63号 | 令和7年度伊東市水道事業会計補正予算(第2号) | 収益的収支及び資本的収支において、収益的支出を3,745万4,000円、資本的支出を118万2,000円それぞれ増額し、新たに債務負担行為を追加するもの | 市長 | 全会一致で可決 |
| 市議第64号 市議第73号  討論 | 令和8年度伊東市一般会計予算、特別会計予算6件、企業会計予算3件 | 各会計の概要は5ページをご覧ください。 | 市長 | 5ページをご覧ください |
| 市選第5号 | 固定資産評価員選任の同意について | 近持剛史氏(新任) | 市長 | 全会一致で選任に同意 |
| 市選第6号 | 教育長任命の同意について | 森重俊幸氏(新任) | 市長 | 賛成多数で任命に同意 |
| 市諮第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 上原直枝氏(再任) | 市長 | 全会一致で推薦に同意 |

本会議で行われた討論の概要

※賛成・反対のごと、登壇順に掲載。会派構成は二二ページをご覧ください。

市議第五一号

《賛成》政和会

犬飼このり議員

社会全体で子供を支えるという理念は理解するが、保険税負担が大きく、症状があっても受診を控える声を聞く。本来、国民健康保険税は自治体の財政状況や住民の生活実態を踏まえ判断する余地がある制度だが国に従わなければペナルティが科されることになり、市民の不利益を最小限にする判断として賛成する。

《反対》重岡秀子議員

この条例改正は全ての健康保険加入者や事業者に子ども・子育て支援制度の財源を拠出させるもので、本市としては致し方ないものと理解するが、県の保険料水準統一のための値上げとも重なり市民負担が大きいくことや、社会保障の充実は本来累進課税である所得税・法人税等の見直しで行う

べきものと考え反対する。

市議第八四号

《賛成》伊東未来

大竹圭議員

子育て支援の拡充や市民生活に直結する事業を評価する一方、財政調整基金の不足や継続事業の持続可能性には強い懸念がある。

自主財源を生み出す経済活性化策やふるさと納税の拡充と宿泊税の導入を強く求め、新しい市政への期待と、議会としての検証責任を果たすため、賛成する。

《賛成》正風クラブ

佐藤周議員

緊迫する国際情勢の動向によって、国内経済の行方が楽観視できない状況が続くことが予想されることから、市政の動向を見守るとともに市内ニーズを的確に判断し、機動的な対処とその備えのためのリーダーシップを発揮していただくこ

とで、市民満足度の向上に努めることをお願いし、賛成する。

《賛成》公明党

長沢正議員

スローガンである「すぐやる」に象徴されるスピード感、また所信表明において示された「やれない理由を見つけるのではなく、やる方法を探し出す」という市政運営の姿勢は、今後の市政に対する大きな期待を抱かせるものであり、高く評価することから賛成する。

《賛成》自由民主伊東

虫田弘雄議員

本予算には市民生活に直結する物価高騰対策をはじめ、未来への投資型予算として、子育て支援や防災対策において消防団・自主防災会の環境整備、交流人口を深める観光産業の発展に期待する。また、その事業効果の検証も含め、本市の諸問題に対しスピード感のある持続可能な市政運営に

も期待し、賛成する。

《賛成》政和会

四宮和彦議員

前市長の不祥事に起因する市政混乱により、新年度予算編成のための時間的余裕が全くないと思われる中、「すぐやる」の精神を発揮し、公約である五本柱の施策に基づき、市民サービスを拡充する新規事業を数多く盛り込んだ市政史上最大規模の予算編成を行った市長のリーダーシップを高く評価し、賛成する。

《賛成》重岡秀子議員

先進的なゼロ歳児から二歳児の保育料無償化や育児用品購入助成等の子育て支援、公共施設のLED化、長寿命化等の改修工事の迅速な予算化、一碧湖や小室山公園の再整備基本構想、大室山観光トイレ整備等の観光振興の土台づくり、中心市街地活性化への新たな取組等、市政発展の希望が見える予算と考え賛成する。

ことばの解説

討論

一般的に使用されているある議題に対しお互いの意見を聞かせることとは異なり、表決の前に、議題となっている議案について、議員が自己の賛否の意見を表明すること。このため、討論は一議題につき、一議員一回とされ、他の議員の討論内容に対し、再度討論することはできません。

6月定例会の予定

6月16日(火) 開会

※日程等は、6月上旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。



予算大綱質疑



要旨はこちら

会派及び会派に所属していない議員から7議員が質疑しました

～市長施政方針及び各会計予算案について～

(文面の掲載量は各会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は12ページをご覧ください。)

令和8年度 市長施政方針

市民の暮らしを守り支える、より信頼される市政、市民の負担を減らし、人口を増やすまち、全ての世代がより幸せに暮らせるまちの実現を目指していく

主な新規事業

- 男女共同参画プラン策定事業
- キャッシュレス決済導入事業
- フロンティア地域循環共生圏形成事業
- 保育料無償化事業
- 認定こども園基本設計等事業
- 母子健康手帳アプリ導入事業
- 育児用品購入助成事業
- ごみ集積所整備費補助事業
- 鳴川浚渫事業
- 教育旅行誘致促進事業
- 一碧湖再整備基本構想策定事業
- さくらの里ドッグラン整備事業
- 大室山観光トイレ整備事業
- 被災者支援システム導入事業
- 学校統合環境整備事業
- 移動図書館車購入事業
- かどの球場照明設備LED化事業 ほか

令和8年度 各会計予算

◎=全会一致で可決

| 会計別 | 区分 | 当初予算額 | 前年度対比 | 審議結果 |
|-----|----------|-------------|--------|------|
| 一般 | 会計 | 326億円 | 102.4% | ◎ |
| 特別 | 競輪事業 | 369億円 | 127.2% | ◎ |
| | 国民健康保険事業 | 81億6,600万円 | 99.7% | ◎ |
| | 土地取得 | 132万円 | 5.1% | ◎ |
| | 霊園事業 | 3,260万円 | 91.1% | ◎ |
| | 介護保険事業 | 95億7,000万円 | 100.5% | ◎ |
| | 後期高齢者医療 | 29億3,800万円 | 104.6% | ◎ |
| 病院 | 事業会計 | 6億1,236万円 | 100.7% | ◎ |
| 下水道 | 事業会計 | 29億823万円 | 95.6% | ◎ |
| 水道 | 事業会計 | 28億9,301万円 | 101.3% | ◎ |
| 合 | 計 | 966億2,151万円 | 109.9% | — |

※ 病院事業会計、下水道事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

※ 計数は、それぞれ1万円未満を繰り上げているため、合計と内訳は一致しない。

ふるさと伊東応援寄附金返礼事業について、事業内容及び今後の見通しを伺う



伊東未来
おおかわかつひろ
(大川勝弘議員)



市長

本市にふるさと納税を行なった方に対し宿泊施設及び観光施設等の利用券、地元特産品等による返礼を実施し、地域の活性化を図り、全国に向け本市の魅力を発信する事業である。さとふる、楽天、ふるさとチョイス、ふるなびに加え、伊東マリンタウンにおける地域共通券の取扱いのほか、一体.com、JALなど、現在九つのポータルサイト等で取扱いを

と納税を行った方に対し、宿泊施設及び観光施設等の利用券、地元特産品等による返礼を実施し、地域の活性化を図り、全国に向け本市の魅力を発信する事業である。さとふる、楽天、ふるさとチョイス、ふるなび

に加え、伊東マリンタウンにおける地域共通券の取扱いのほか、一体.com、JALなど、現在九つのポータルサイト等で取扱いを

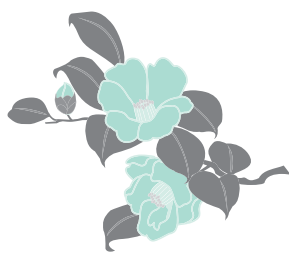
行っている。また、富裕者向け雑誌や、ポータルサイト等におけるバナー広告の掲載を行うとともに、商工会議所等と連携し、新規返礼品の開発を行っている。今後は、これまでの取組に加え、本市のふるさと納税の特徴である、旅行クーポン等の取扱いを強化するため、じゃらんにおけるふるさと納税を早期に導入できるように、事業者と調整を進めること等により、年間一〇億円の寄附を目指し、より産業振興に資する部署への所管変更も含め、取組を強化していきたい。

ごみ集積所整備費補助金について、事業内容及び今後の見通しを伺う

市長

ごみ集積箱等の購入費用の一部補助を実施し、地域の環境美化に努めていく

現在、市内のごみステーションでは、ネットを被せ



るだけではカラスや猫によるごみの散乱を防ぐことが難しい地域もあり、既に一部の地域で大きな効果を上げているごみ集積箱の購入費用の一部を補助することとした。補助対象者を自治会、町内会のほか、集合住宅の所有者等も含めたごみ集積所の管理者とし、管理者の負担軽減とごみ集積箱の普及促進を図るため補助率を四分の三とし、ごみ集積箱のほか収集ネットも補助対象とする。令和八年四月の施行に向けて補助要綱の制定を進め、詳細が決定次第お知らせするとともに、申請件数等の状況を注視する中で地域の皆様の意見も伺いながら、引き続きごみの散乱防止を始めとした地域の環境美化に努めていく。

『その他の質疑』二二項目



正風クラブ
さとうしゅうじ
(佐藤周議員)



伊豆高原観光オフィスの組織力向上や活動強化について、現状の課題と今後の取組を伺う

市長

人材の確保と育成が課題であり、将来を見据えた組織の在り方を協議・検討する

伊豆高原観光オフィスに地域おこし協力隊を派遣し、窓口や教育旅行誘致に関する業務に従事することで、組織力向上や活動強化を図ることを目的としているが、地域おこし協力隊の任期は最長三年であり、持続的な運営を行うためには、人材の確保と育成が課題であると認識している。

今後は、地域おこし協力隊の定住を促していくとともに、将来を見据えた組織の在り方について、関係者

と協議・検討していく。

小・中学校のオーガニック給食の実現に向けた検討について取組内容を伺う

市長

様々な課題の解消が使用機会の拡大につながると考え、関係機関と連携を図り前向きに検討を進める

オーガニック食材については、これまでオーガニック給食を推進する団体から、令和六年度に門野中学校にじゃがいも、令和七年度に宇佐美小学校に塩を試験的に提供していただき、献立に合わせて活用した。農薬等に頼らず、太陽や水、その土地の自然の恵みを生かした有機農法によるオーガニック食材は、安全や環境に配慮した食材として各地で取組が増加傾向にあると承知しているが、食材価格が割高になることや、生産量や品目に限りがあるため、今後、供給量が高ま

り必要な量の確保や価格面の問題等の課題が解消されることが使用機会の拡大につながると考えることから、関係機関と連携を図る中で、前向きに検討を進める。

『その他の質疑』二七項目



政和会
いぬかい
(犬飼このり議員)



さくらの里ドッグラン整備事業について、事業概要及び今後見込まれる効果を伺う

市長

多様なニーズに対応するため、さくらの里市営駐車場横に、約五〇〇平方メートルのドッグラン施設を新たに整備することで、ペットに優しい伊豆高原のブランドイメージの向上が見込まれるとともに、飼い主のマナー向上に努めることで、魅力ある観光地づくりにつながると考える

さくらの里ドッグラン整備事業については、昨今の多様なニーズに対応するため、さくらの里市営駐車場横に新たにドッグラン施設を整備するものである。

整備概要については、さくらの里市営駐車場横に約五〇〇平方メートルの規模を予定し、大型犬・小型犬の区分けを設けるとともに、利用者の利便性を考慮し、給水設備の設置を予定している。

今後見込まれる効果としては、ペットに優しい伊豆高原のブランドイメージ向上が見込まれるとともに、あわせて、園内における放し飼いや、ふんの不始末等が生じないよう、飼い主のマナー向上に努めることで、誰もが清潔で気持ちよく利用できる魅力ある観光地づくりにつながるものと考え

『その他の質疑』七項目



自由民主 伊東
(井戸清司議員)



社会情勢に鑑みると今後の金利上昇は避けられないと
思料する中で、大幅な地方
債の増額は後年度負担への
影響が大きくなる懸念があ
ると考へることから、市長
の見解について伺う

市長

今後、金利負担が市の財政
にとって大きなものとなっ
ていくことも考えられるこ
とから、他の特定財源を優
先して活用するなど、地方
債の発行の抑制に努めてい
きたいと考へている

令和八年度当初予算にお
ける地方債の発行予定額は、
一四億六〇万円で、対前年
度比三〇・三%、三億二五
六〇万円の増となっている。
また、令和七年度からの
繰越明許費と合わせた発行
額は、一五億四七二〇万円

となる見込みである。

地方債の現在高について
は、普通債の現在高はここ
数年上昇傾向にあるが、臨
時財政対策債の発行額が抑
制されていることから、地
方債全体の現在高は減少し
てきている。

しかしながら、借入利率
では低利率であったため、
金利負担は抑えられていた
が、今後、金利負担が市の
財政にとって大きなものとな
っていくことも考えられ
ることから、他の特定財源
を優先して活用するなど、
地方債の発行の抑制に努め
ていきたいと考へている。
『その他の質疑』 四項目



公明党
ながさわまし
(長沢正議員)



新年度予算案には市長が目
指す市政運営がどの程度反
映できたと考へるか伺う

市長

最重要政策である子ども
子育て支援については一定
程度予算化できた

現在、本市には子育てや
教育の充実、命を守る防災
対策、急激な物価高騰に伴
う苦しい経済状況への対策、
透明性のある市政運営、移
動・交通手段の不安解消な
ど、数多くの課題が山積し、
スピード感を持った、待っ
たなしの市政運営が求めら
れていると認識しており、
これらの課題をいち早く解
決するため、今般の市長選
挙においては、「子ども・子
育て、教育・文化・スポー
ツ支援」、「防災・医療・福
祉分野などの命を守る政
策」、「強みを生かした産業
・経済・観光振興」、「信頼
され前に進められる市政の
実現」、「移動の不安解消」を
主要施策として掲げた。
新年度予算案には、ゼロ
歳からの保育料無償化や育
児用品支給事業、給食費無
償化の継続等、最重要政策
として掲げた子ども・子育て

て支援について一定程度予
算化できたものの、他の分
野については全ての事業を
盛り込むことはできず、全
体の達成度は半分には到達
していないと認識している。
今後は事業全体を見直し、
財源を確保することで公約
事業等の実現に努める。

『その他の質疑』 一二項目



会派に所属していない
かたぎりもとゆき
(片桐基至議員)



本市の魅力や価値の明確化
に係る取組を伺う

市長

観光施設の維持管理、整
備により魅力向上に努める。

また、「伊東らしさ」を
明確化するため、観光資源
の特徴や強みを打ち出した
ブランディング施策の強化
に取り組み、ロケツーリス
ムの推進により知名度向上
や交流人口の増加等を図る。
『その他の質疑』 四項目



会派に所属していない
しむおかみこ
(重岡秀子議員)



人口増には産業振興も重要
な要素と考へることから、
産業振興について特に重点
を置く施策や構想を伺う

市長

遊休不動産を活用したま
ちづくりの推進とともに、
本市の実情に即した重点施
策を整理し、産業振興を通
じた雇用創出と人口増加に
つながる持続可能な地域経
済の構築に取り組んでいく。
『その他の質疑』 二項目

いとう市議会だより
三月号
記事訂正のお知らせ

いとう市議会だより三月
号に掲載した、編集後記の
掲載内容について誤りがあ
りました。
誤 専任
正 選任
訂正してお詫び申し上げ
ます。



一般質問



要旨はこちら

12議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています。)

体育館への空調整備の今後の方針を伺う



かわしま きよみ え 議員
河島紀美恵議員
(伊東未来)



近年は気候変動の影響により猛暑日が増えており、令和七年七月三十日に本市に津波警報が発令された際に、体育館に避難した方もいたが、室温が高かったため、避難場所を変える方もいたと聞いている。また、体育館を授業で使用する児童・生徒の熱中症対策や学習環境の整備は急務であると考えることから、体育館への空調整備の今後の方針を伺う。

市長

可能な限り早期に整備を進める方針である

学校体育館への空調設備の設置は、これまでに校舎内の普通教室及び特別教室への空調設備が完了したこ

とから、今後、可能な限り早期に整備を進めていく方針である。

今後は、熱源設定や断熱性の確保等を検討する必要があることから、令和八年度中に補正予算を計上し基本設計を策定の上、令和九年度中の工事完成を目指す。特別教室の設置事例からも、空調設備以外の修繕工事と合わせ、現時点では完成まで二年程度の期間を要すると考えている。

『その他の質問』 五項目



すずき あやこ 議員
鈴木絢子議員
(正風クラブ)



子ども条例を制定するべきと考えるが、本市の見解を伺う

本市には子供施策・子育て施策を総合的に推進する独自条例や包括的計画がない。現状を分析し、不足する施策、市民ニーズ及び子

供の意見を踏まえた、子ども条例を制定するべきと考えるが、本市の見解を伺う。

今後は、熱源設定や断熱性の確保等を検討する必要があることから、令和八年度中に補正予算を計上し基本設計を策定の上、令和九年度中の工事完成を目指す。特別教室の設置事例からも、空調設備以外の修繕工事と合わせ、現時点では完成まで二年程度の期間を要すると考えている。

市長

先進的な取組等を参考にし、今後、制定に向け前向きに検討する

子ども条例は、子供が将来にわたり幸福な生活を送ることができるとして、主として子供の権利を指し、主として子供の権利等に対する理念を定めた条例であるが、全国で制定している自治体は、僅かである。

本市は、少子化対策や子育て環境の充実を図るため、様々な取組を実施しているが、子ども条例を制定し、子供の権利を明確にすることにより、社会全体で子供の心身の健康や子育てを支える機運の醸成が図られ、子ども・子育て施策のさらなる推進や充実につながることを考えることから、先進的な取組等を参考に、今後、制定に向け前向きに検討する。

『その他の質問』 七項目

別荘税、宿泊税などの法定外税の導入の可能性について伺う



たけもと たけくに 議員
竹本力哉議員
(公明党)



行政需要に対応する財源を確保するため、別荘税、宿泊税などの法定外税を導入し、または導入を予定する自治体があるが、本市におけるこれら法定外税の導入の可能性について伺う。

市長

先進事例を参考にしながら、導入の必要性について前向きに研究していく

近年では、法定外目的税として宿泊税を導入する自治体が増え、観光インフラの整備や観光振興のための財源として活用されており、隣接する熱海市では、生活関連施設や消防、救急体制の整備などの行政需要に対応するため、法定外普通税

として、別荘等所有税が課税されている。

法定外税の導入について、行政需要に対応する施策の財源確保は、本市にとっても、重要な課題であることから、適切な税負担の在り方を考える中で、納税者に対し過度の負担とならないかを注視しつつ、熱海市などの先進事例を参考にしながら、導入の必要性について前向きに研究していく。

『その他の質問』 一二項目



すぎもと かずひこ
杉本一彦議員
(伊東未来)



建築物の高さの最高限度の規制を緩和する考えはないか伺う

伊東国際観光温泉文化都市建設計画により、伊東地区商業地域等における建築物の高さの最高限度が定められているが、市内経済の活性化及び本市の将来に向

けたまちづくりの観点から、規制を緩和する考えはないか伺う。

市長

都市計画マスタープラン等の改定作業を進める中で、適切な案を提案できるように前向きに検討を進めていく

建築物の高さの最高限度については、地域特性や周辺環境との調和を考慮した上での規制であり、過剰な大規模建築が地域の魅力を損なうことのないように、慎重に設定しているが、一方で、地域経済の活性化や観光客の増加等を図るために、一定の柔軟性が必要であることも認識している。今後は、地域の活性化を図る観点から、建築物の高さ制限の緩和について、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定作業を進める中で十分な議論を行い、その結果を踏まえて適切な案を提案できるように、前向きに検討を進めていく。

『その他の質問』 六項目



しのみやかずひこ
四宮和彦議員
(政和会)



断水被害は、最大で四九八〇世帯に及んだとされるが、各家庭の給水管の損傷については、どのように確認を行ったのか伺う

寒波に伴う断水被害は最大で四九八〇世帯に及んだとされるが、その主たる原因は各家庭の配管凍結による給水管の損傷に伴う漏水であり、使用水量の主たる増加原因になったと考えられる。空き家や放置家屋、別荘等における漏水箇所の特定確認作業は、どのように進められたのか伺う。

市長

緊急漏水調査を実施したほか、漏水している空き家の情報提供を依頼した

空き家等について漏水の発見が遅れることが懸念されたため、緊急漏水調査を

実施した。直近の水道メーター検針で使用水量がゼロであった家屋を抽出し、二月一〇日から四日間で一六一八軒の漏水調査を実施し、漏水を発見した四四軒には、閉栓作業を行った上で修繕依頼の案内文をポストに投函したほか、市メールマガジンで市民等へ漏水している空き家の情報提供を依頼するとともに、職員に自宅周辺や外出先周辺の漏水調査及び情報提供を指示した。

『その他の質問』 五項目



むらかみ かずゆき
村上祥平議員
(正風クラブ)



消火栓等が設置されていない地域の現状把握及び消防水利の拡充について伺う

近年、消火栓や防火水槽が設置されていない居住地域において火災が発生しているが、消火活動において水利の確保は絶対条件であ

り、このような地域の現状把握及び消防水利の拡充について、本市の考えを伺う。

市長

消防支援情報管理システム等で管理しており、今後も消防水利の拡充に努める

本市の消防水利は、消火栓二〇四八基、防火水槽三七九基、プール四四箇所、自然水利六一箇所を維持管理しており、消防水利の位置等は、駿東伊豆消防本部が運用する消防支援情報管理システムで管理している。消防水利の希薄地域の現状把握は、市内で消防水利が必要な地域を七一八のメッシュに区分した消防水利管理地図で確認しており、令和六年度末現在の未整備地域は一一八メッシュとなっている。消防水利の拡充については、一メッシュ当たり最低一基の確保を目標としており、毎年二から三メッシュの確保ができるよう駿東伊豆消防本部等と連携し拡充に努めている。

『その他の質問』 八項目



むしあきひろ お虫明弘雄議員
(自由民主 伊東)



観光振興を図るための担い手について、どのように想定しているか伺う

持続可能な稼げる観光地を目指すため、観光振興のかじ取り役となるDMO（観光地域づくり法人）が必要であると考えるが、観光振興を図る担い手をどのように想定しているか伺う。

市長

先進事例を参考に、本市に合った担い手について研究し取り組んでいく

観光振興を図るための担い手については、関係機関が一体となって取り組んでいく体制が望ましいことから、第四次伊東市観光基本計画において、行政、観光、宿泊関連団体、交通事業者をはじめ、関連機関、事業者などが連携した新たな推

進体制の構築を掲げている。

地域の関係者が一体となって観光地経営の視点を持つことは、地域の稼ぐ力を引き出し、観光客増加と地域活性化への波及が期待できることから、有効な推進体制であると認識している。

今後については、DMOを設立した熱海市などの先進事例を参考に、本市に合った観光振興を図るための担い手としての推進体制を研究し、取り組んでいく。『その他の質問』一三項目



おおたけけんじ 大竹圭議員
(伊東未来)



本市の重点分野に係る優先順位の考え方や判断根拠を伺う

人口減少や高齢化の進行等本市を取り巻く環境が大きく変化する中、的確な現状把握により重点政策を決定し、その根拠を明確にす

ることが極めて重要である

と考えることから、本市の重点分野に係る優先順位の考え方や判断根拠を伺う。

市長

子ども・子育てや教育分野への政策を優先したい

本市では、子育てや教育の充実、命を守る防災対策、急激な物価高騰に伴う苦しい経済状況への対策、透明性ある市政の運営、移動・交通手段の不安解消等、数多くの課題に対し、スピード感を持った市政運営が求められている。これまでも、子ども・子育てや教育分野等には継続的に注力されてきたが、選挙戦を通じた市民の皆様のような声を伺う中で、より一歩進めた形での子育て世帯への経済的支援やサービスの充実等を進め、人口を減らさず、増やしていくことで、大好きな伊東の活性化にもつなげたという気持ちを含めて強く優先したいと判断した。『その他の質問』九項目



しのほらみずこ 篠原峰子議員
(公明党)



不登校の児童・生徒が増加している現状を踏まえ、体制整備について市長の見解を伺う

全ての子供に対して多様な学びの機会を保障することとは喫緊の課題であることから、学びの多様化学校の設置など体制整備について具体的に検討を進めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。

市長

学びの場の創出について、民間の力を取り入れることも視野に入れながら検討していく

現在、登校が難しい児童・生徒の学びの場として、教育支援センターや静岡県バーチャルスクール、民間のフリースクール、通信教育などがあり、学校からの

情報提供や保護者の対応に

より、児童・生徒が学びの機会として利用している。多様な学び場の一つに「学びの多様化学校」があるが、本校型や分校型、コース指定型など様々な設置の形があり、先行事例が少ないものの、前向きに調査研究を進めていくとともに、この他の学びの場の創出についても、民間の力を取り入れることも視野に入れながら検討していく。

『その他の質問』一〇項目



いぬいこのり 犬飼ここのり議員
(政和会)



家族介護者の仕事と介護の両立における課題認識及び支援策の拡充について伺う

仕事を続けながら介護をする方について、両立に向けてどのような課題を認識しているか伺うとともに、家族介護者への支援を拡充

する考えはないか伺う。

市長

家族介護者の介護疲れなどを軽減する環境整備が重要であると認識しており、支援拡充については、国の動向を注視し、検討していく

介護疲れに加え、不慣れた制度の利用手続等に対し精神的負担が生じることが課題であると認識しているため、地域包括支援センターやケアマネジャーと相談の上、介護サービスの活用により介護者の休息環境を整えることが重要である。

在宅高齢者の家族介護者に対し、一定の条件の下、支援金や温泉券、紙おむつ等を支給する家族介護継続支援事業については、厚生労働省から、交付金対象とするに当たり計画的に廃止縮小することなどの要件が通達されているため、対象者の拡充には国に方針変更を求める必要があるが、制度改正など国の動向を注視しつつ拡充方法を検討する。

『その他の質問』 三項目



かたぎりもとゆき
片桐基至議員
(会派に所属していない)



商店街に居住する住民の生活の向上と、市街地のにぎわい創出や観光業の活性化を結びつけるには、どのような施策が必要と考えているか伺う

商店街の活性化は近隣住民や今後居住する方の住民福祉の向上と切っても切れない重要な要素であり、居住する住民の生活の向上と市街地のにぎわい創出や観光業の活性化を結びつけるにはどのような施策が必要と考えているか伺う。

市長

リノベーションによるまちづくりを中心に分野を横断した施策に取り組んでいく

地域に暮らす人々の日常的な利便性や快適性の向上と、地域資源を活用した来訪者にとって魅力ある滞在

空間の形成を一体的に進めることが重要であると考える。リノベーションによるまちづくりを中心的な取組として、空き店舗や遊休不動産等を活用し、日常生活の利便性向上と地域コミュニティの活性化を図るとともに、民間事業者等と連携し、居住・商業・観光の各分野を横断した施策により、持続的な市街地の活性化に取り組んでいく。

『その他の質問』 三項目



しげおかひこ
重岡秀子議員
(会派に所属していない)



本市に適した住民組織づくりを検討すべきと考えるがいかがか

住民自治を発展させ官民一体となったまちづくりを進めるために住民組織の見直しは重要課題であり、新たな住民組織を編成する必要があると考えていることから、

現状把握をして問題点や課題の洗い出しをすることにも、他自治体の事例等も研究し、本市に適した組織づくりを検討すべきと考えるがいかがか伺う。

市長

自治会等の構成や成り立ちなどが本市と類似する先進地の事例等の研究を進める

自治会等が抱える課題解決の一助とするため、令和八年度から静岡県の地域づくりアドバイザー派遣制度を活用し、自治会役員などを対象とした自治会の存続や自治会内のデジタル人材の育成等の研修会を開催することで、現状や課題の把握に努めていく。住民自治を発展させ、官民一体となったまちづくりを推進することは重要な施策と考えることから、自治会等の構成や成り立ちなどが本市と類似する地方自治体の取組も含め、先進地の事例等の研究を進める。

『その他の質問』 二項目

閉会中の議会活動

令和7年12月定例会閉会から令和8年3月定例会開会まで

- 12月 5日 常任観光建設委員会協議会
- 12月11日 議会報編集委員会
- 12月22日 常任観光建設委員会協議会
- 12月23日 常任福祉文教委員会協議会
- 12月23日 常任総務委員会協議会
- 12月24日 議会運営委員会

- 1月21日～23日 常任総務委員会行政視察
- 1月21日～23日 常任観光建設委員会行政視察
- 1月21日～23日 常任福祉文教委員会行政視察
- 2月 5日 議会報編集委員会
- 2月 5日 常任総務委員会協議会
- 2月16日 議会運営委員会
- 2月18日 常任観光建設委員会協議会



委員会だより

〔常任委員会及び予算・決算特別委員会
分科会審査の中から、一部を抜粋〕
ホームページにおいて、要点記録を公開して
います。



要点記録は
こちら

総務 委員会・分科会

問 同報無線操作卓等を更新することとした経緯を伺う。

答 現在、使用している同報無線設備は令和八年度で設置から十年が経過し、メーカー保守期限を迎えるため、令和九年度以降に故障した場合には、修理が不能になる可能性がある。同報無線は、緊急時の重要な情報伝達手段であり、市民等の生命に直結する設備であることから、計画的に更新し、機器の安定稼働を図る。



設置から10年が経過する同報無線操作卓

観光建設 委員会・分科会

問 大室山観光トイレ整備工事請負費が一億五三〇〇万円と高額であることの理由及び整備目的を伺う。

答 大室山は本市を代表する観光スポットであり、年間観光スポットであり、年間を通し多くの来遊客が訪れることから、大規模な浄化槽の整備を予定している。これが事業費の約半分を占め、県の補助金を活用し整備するが、維持管理については、リフトの運営企業と協定を結び依頼をする予定である。



年間70万人を超える観光客が訪れるジオサイト「大室山」

福祉文教 委員会・分科会

問 母子健康手帳アプリの導入目的及び内容を伺う。

答 母子健康手帳アプリの導入は、紙の手帳と併せてスマートフォン上で気軽に子供の情報が確認できる体制を構築し、子育て世代に対する利便性の向上を図るために実施する。内容は、子育て支援情報の配信や小児予防接種サービス等で、過去の予防接種の履歴や健診結果が容易に確認できるところで子供の養育に役立ててもらえるよう準備を進める。



アプリの導入と併せて今後も活用されていく紙の母子健康手帳

市議会内の会派構成

(令和八年五月一日現在)

伊東未来

河島紀美恵 議員

大竹 圭 議員

青木 敬博 議員

大川 勝弘 議員

◎杉本 一彦 議員

正風クラブ

村上 祥平 議員

鈴木 絢子 議員

◎佐藤 周 議員

宮崎 雅薫 議員

公明党

◎長沢 正 議員

竹本 力哉 議員

篠原 峰子 議員

政和会

犬飼このり 議員

◎四宮 和彦 議員

浅田 良弘 議員

自由民主 伊東

中島 弘道 議員

虫明 弘雄 議員

◎井戸 清司 議員

片桐 基至 議員

重岡 秀子 議員

(◎) 会派代表者、

会派構成議員は議席順)

編集後記

城ヶ崎のつり橋は、海外からも多くの観光客が訪れる伊東の名所です。富戸の港で定置網漁を行っている皆さんの協力のおかげで、つり橋の違った一面を写真に収めることができました。つり橋を下から見上げる景色は、めったには見ることはできません。四〇〇〇年の歴史がある断崖ときれいな海。そして、つり橋とのコラボは、本市ならではの大自然からのご褒美です。

近年、ピクニカルコースが整備され、自然豊かな地形を歩くことができます。(村上祥平)

議会報編集委員会

委員長 竹本 力哉

副委員長 村上 祥平

委員 大竹 圭

〃 犬飼このり

〃 虫明 弘雄

市議会に関するご意見
ご質問は議会事務局へ